

TOPIC

令和7年度第1回看護学部ホームカミングディを開催 ～ 卒後1～3年目の卒業生と教員が再会～



教員と卒業生の つながりを育み キャリアを支援

人に寄り添い、
命と向き合う看護の学び
懐かしい仲間と笑顔で語り
心しなやかに

令和7年5月24日(土)、看護学部では、「看護学部VISION2018」で掲げる教育・実践・研究の連動を支える基盤として、卒業生と学部教員をつながりを深め、各自のキャリア形成を支援することを目的に、「ホームカミングディ」を開催しました。看護学部を拠点とした継続的な関係づくりを目指した取り組みです。

初の卒業後1～3年目対象

会場には、卒業後1～3年目の卒業生14名

(1年目5名、2年目5名、3年目4名)をはじめ、看護学部同窓会副会長、教員13名が参加し、総勢28名の集いとなりました。

当日は、参加者が選んだ華やかなケーキを囲みながら、教員からのビデオメッセージや手紙、またその場に出席した教員の体験談を交えた温かなメッセージが贈られました。

続いて、卒業生一人ひとりが現在の仕事や近況について報告し合い、同世代同士が励まし合う和やかな時間が流れました。

終了後も会場には話の輪が広がり、卒業生と教員が尽きることなく語り合う姿が見られるなど、学び舎での再会が絆を深める有意義なひとときとなりました。

参加者からは、「頑張っているのは自分だけじゃないと励まされた」「進む道に迷ったときは大学に戻ってきてもいいと言われて安心して安心した」「懇談の時間があつという間でもう少し長くてもよい」「ぜひ3年目以降も参加したい」といった声が寄せられ、今後の開催に期待の高まる会となりました。

SPECIAL NEWS

医大生11名がパンダハウスとともに「ふくしまシティーハーフマラソン」を応援!

令和7年5月18日(日)、福島市で開催された「ふくしまシティーハーフマラソン」において、本学の広報サークル「PR_Lab」に所属する医学部生と看護学部生の合計11名が、パンダハウスの応援隊として参加しました。

パンダハウスは、病と向き合う子どもとそのご家族を支える宿泊施設で、学生たちはその趣旨に賛同し、活動に参加しています。

マラソン前には、入院中のお子さんたちと医大生が2日間にわたり協力して、ランナーへ

の応援の気持ちを込めた“オリジナルうちわ”を作成。入院中の子どもたちと心をつなぐオリジナルうちわを手に、当日は約4,600人のランナーを全力で応援しました。

沿道では、学生たちとハイタッチを交わしながら走るランナーの笑顔や汗があふれ、応援する側にもたくさんの元気が届く温かなひとときとなりました。最高気温29℃という暑さの中、体調を崩して座り込むランナーの方々には、学生たちがうちわであおいだり、飲み物を提供し

たり、水をかけるなど、医療人としての視点とやさしさでサポートする場面も見られました。

今後も、地域に寄り添い、心ある医療人を目指す学生たちの活動にご注目ください。



本学大学院生が放射線領域の学会で受賞しました

～F-REIの支援のもと、核医学治療における線量評価の研究に取り組む二人へエールを～

令和7年4月10日(木)～13日(日)、パシフィコ横浜にて開催された第81回日本放射線技術学会総会学術大会において、本学大学院保健科学研究科 保健科学専攻 診療放射線科学領域 三輪研究室所属の大学院生、和知海斗さんが「学生最優秀賞」、秋谷直慶さんが「学生優秀賞」を受賞しました。

本賞は大学院生を含む学生発表を対象に、

抄録および発表スライドに基づき審査が行われたもので、上位8名に「学生優秀賞」が授与され、最も高い評価を得た1名に「学生最優秀賞」が贈られます。

いずれも保健科学部1期生として学部時代に取り組んだ卒業研究が評価され、今回の受賞に至りました。

和知さんと秋谷さんは、福島国際研究教育

機構(F-REI)第四分野(放射線科学・創薬医療分野)の委託研究「RIで標識した診断・治療薬に関する研究開発」にも研究補助メンバーとして参画しており、F-REIの支援のもと、核医学治療における線量評価の研究に日々取り組んでいます。今後のさらなる活躍が期待されます。

写真左から和知さん、秋谷さん



※日本放射線医学会・日本放射線技術学会・日本医学物理学会の合同による「JRC2025(Japan Radiology Congress)」以下JRCは、機器展示(ITEM)を含めて2万人以上が参加する、放射線領域において世界最大級の学術集会です。

福島県立医科大学は、JRCにおいて東日本大震災後の放射線被ばく医療や健康管理、災害時対応の実践的研究を内外の放射線医療関係者に向けて継続的に発表し放射線医学の発展に貢献してきました。



Report

第45回志らぎく会総会開催

令和7年5月28日(火)、第45回福島県立医科大学志らぎく会総会及び学生との懇談会が開催されました。

志らぎく会は、「医学の進歩と発展のために自らの遺体を無条件無報酬で福島県立医科大学に献ずる」という崇高な精神の元に多くの会員が集い、総会員数は4,700名を超し、すでに献体された会員も2,023名に達しています。

総会では、現況報告や昨年度に実習で使用した

遺体数の報告がされました。

また、総会に先立ち開催された懇談会では、実際に解剖実習を行っている学生に、志らぎく会会員の皆様それぞれの献体に込めた思いが語られました。

献体を通じて学ぶことは、単に知識や技術の習得にとどまらず、医療人としての心構えや倫理観も深く養うことができます。これらの学びを通じて、より優れた医療従事者となることが期待されます。



INFORMATION

オープンキャンパス2025開催告知

「医大ってどんなところ?」と思ったら、ぜひ来てみてください!
福島県立医科大学の学びやキャンパスの雰囲気を、実際に体験してみませんか? 学部紹介や模擬講義、在校生との交流など、大学の魅力がぎゅっとつまった1日です。

以下の日程でオープンキャンパスを開催します。

- 1 開催日時
- 看護学部……………2025年7月 5日(土) 13時～16時
 - 保健科学部……………2025年7月12日(土) 10時～16時
 - 別科助産学専攻………2025年7月12日(土) 10時～12時
 - 医学部……………2025年7月19日(土) 10時30分～15時

- 2 会場
- (医学部、看護学部、別科助産学専攻)
福島県立医科大学光が丘キャンパス
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
- (保健科学部)
福島県立医科大学福島駅前キャンパス
〒960-8516 福島県福島市栄町10-6

詳細は
こちらから



福島県立医科大学
OPEN CAMPUS 2025

学部	開催日時	会場
医学部	7.19 SAT 10:30～15:00	光が丘キャンパス
看護学部	7.5 SAT 13:00～16:00	光が丘キャンパス
保健科学部	7.12 SAT 10:00～16:00	福島駅前キャンパス
別科助産学専攻	7.12 SAT 10:00～12:00	福島駅前キャンパス

各学部の詳細は、各学部のウェブサイトをご覧ください。